

## Vol.131 「6か国の高校生の国際交流の状況」

近年では、海外への修学旅行や留学・ホームステイなどで、日本の高校生が外国の文化や人と交流する機会が増えました。では、日本を訪れる外国の高校生も多いのでしょうか？今回は、日本、アメリカ、イギリス、オーストラリア、韓国、中国の高校生を対象に旅行や留学などで行ったことのある国や行ってみたい国、友達になりたい国について調査しました。

**調査概要**

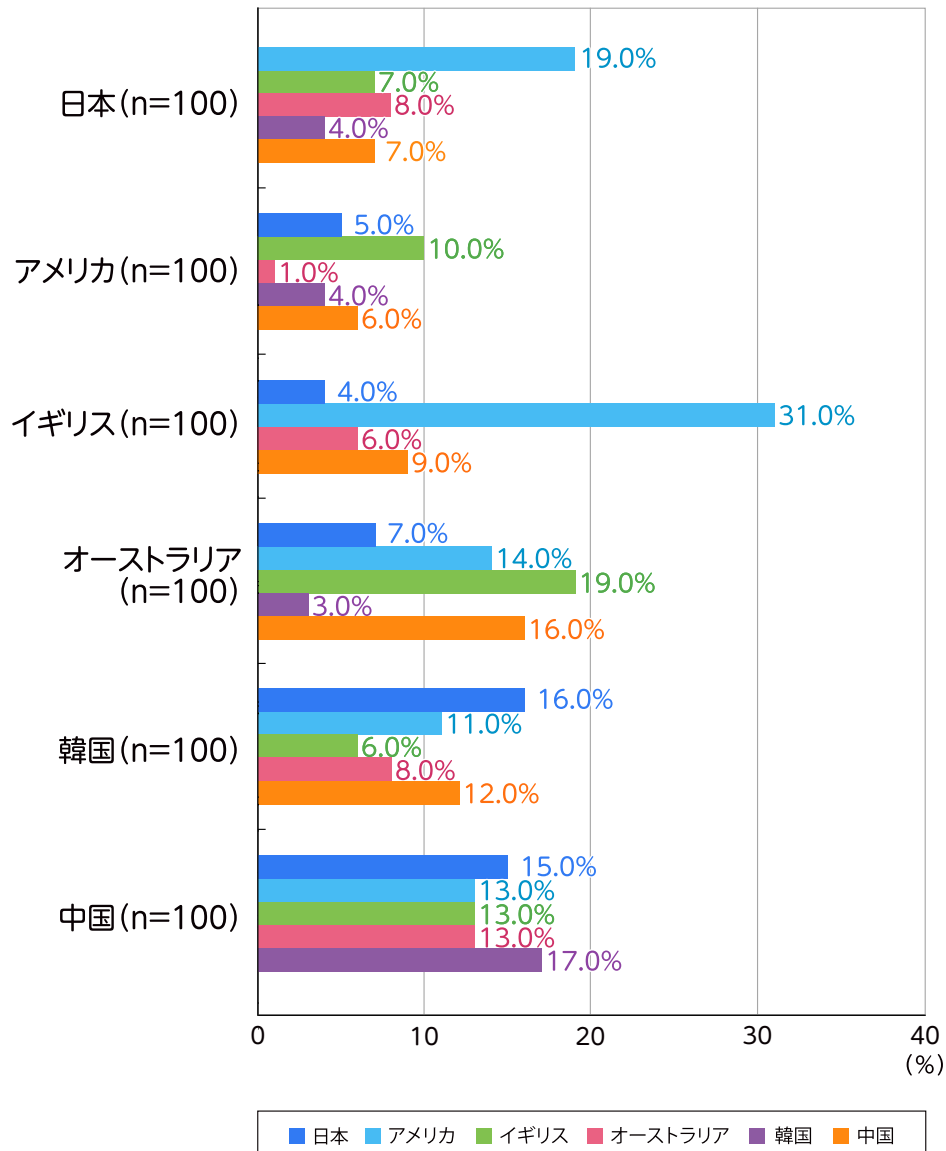
調査対象：日本、アメリカ、イギリス、  
オーストラリア、韓国、中国の高校生  
600人（各国100名）

調査方法：インターネットリサーチ

実施時期：2016年8月

## Q 1. 旅行や留学などで行ったことのある国

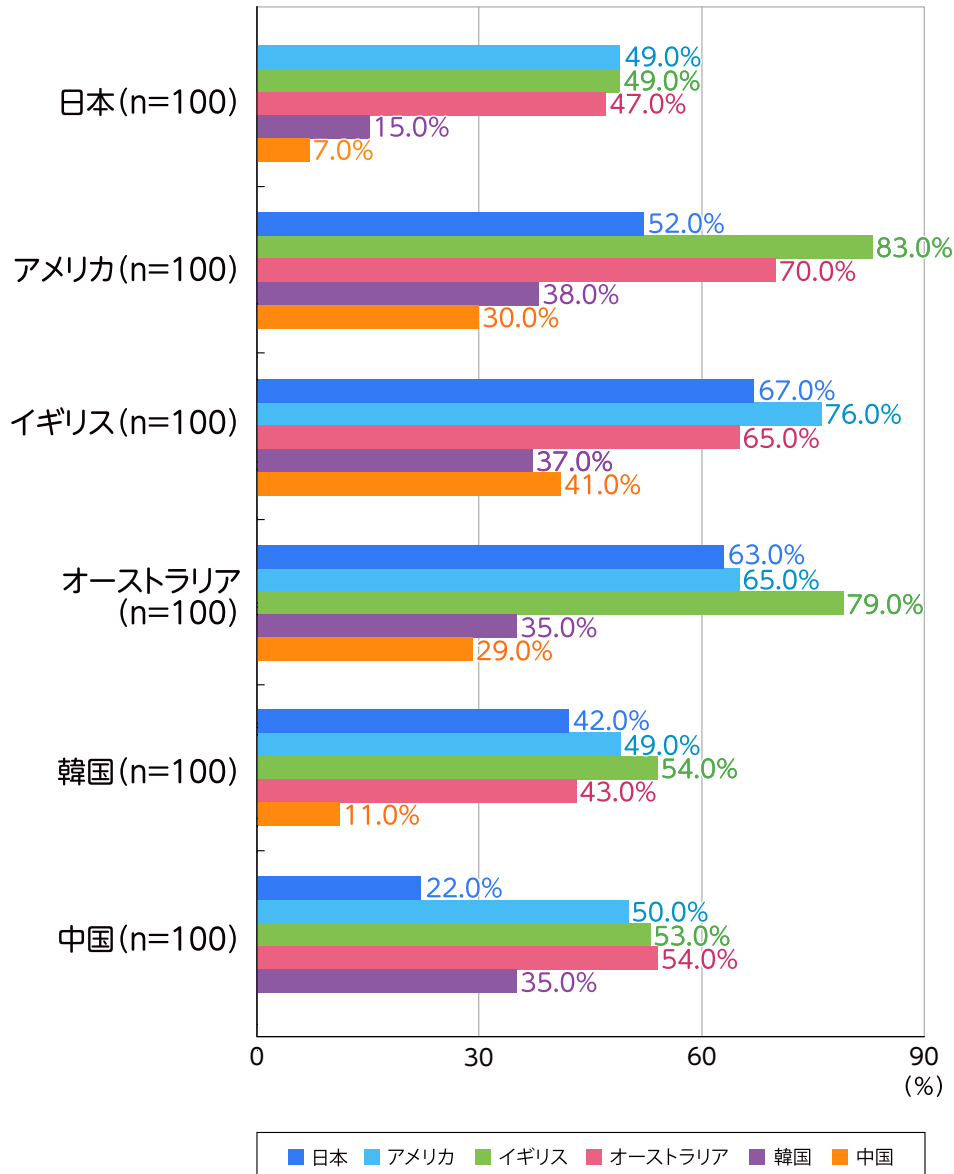
6か国の高校生が旅行や留学で行ったことのある国で多い国は、日本の高校生は「アメリカ」(19.0%)が多く、アメリカの高校生は「イギリス」(10.0%)、イギリスの高校生は「アメリカ」(31.0%)、オーストラリアの高校生は「イギリス」(19.0%)、韓国の高校生は「日本」(16.0%)、中国の高校生は「韓国」(17.0%)という結果になりました。日本の高校生は「アメリカ」に旅行や留学で行ったことがあるという回答が約2割で最も多いという結果になりました。



【図1】 あなたが、旅行や留学などで行ったことのある国はどこですか？(複数回答) ※自国は除く

## Q 2. 旅行や留学などで行ってみたい国

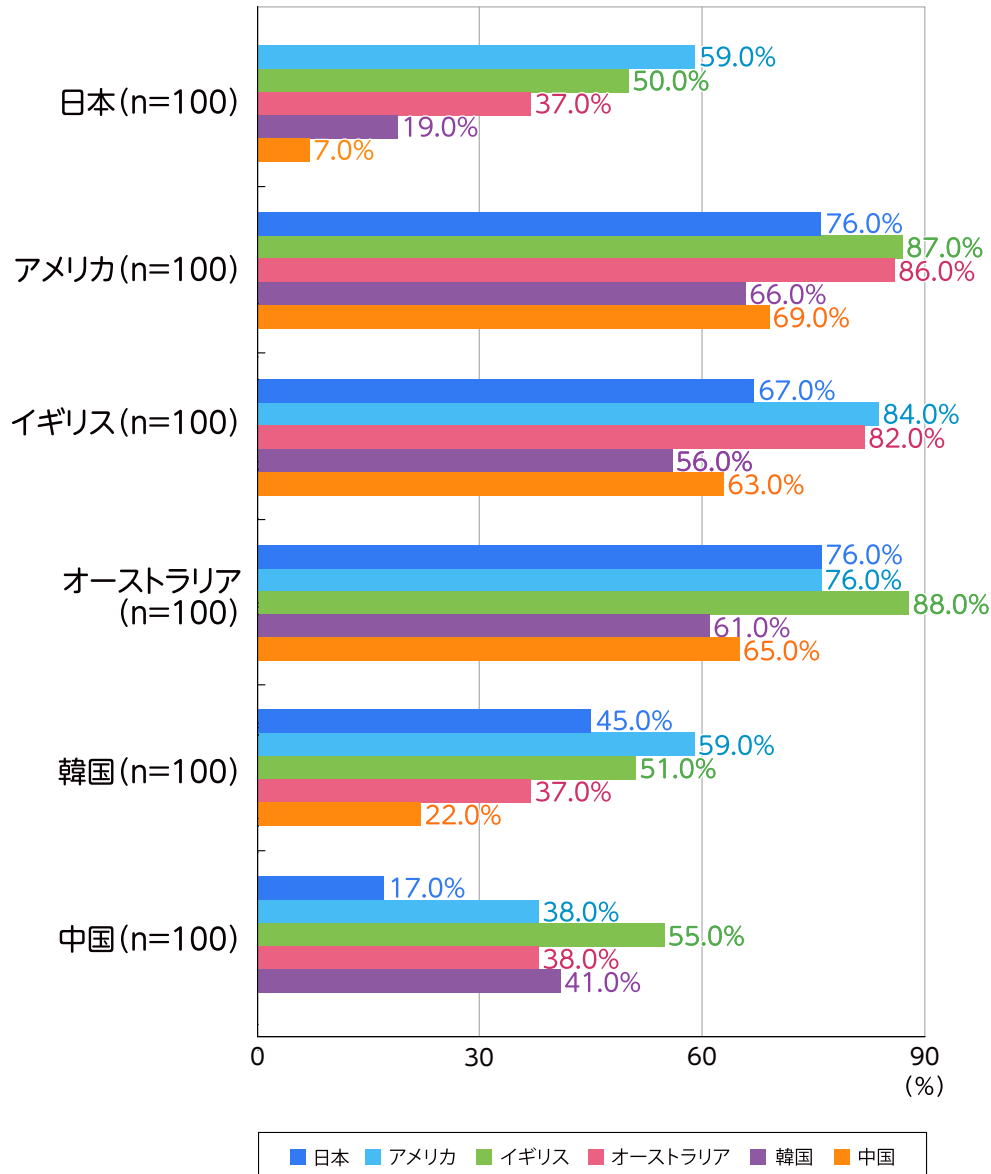
旅行や留学で行ってみたい国は、日本の高校生は「アメリカ」(49.0%)、「イギリス」(49.0%)、「オーストラリア」(47.0%)が多く、英語圏の国が多くなりました。また、日本に行ってみたいという国の高校生は、「イギリス」(67.0%)、「オーストラリア」(63.0%)が多いという結果になりました。



【図2】 あなたが、旅行や留学などで行ってみたい国はどこですか？（複数回答）※自国を除く

## Q 3. 友達になりたい国

どの国の人と友達になりたいですか?という質問に対しては、日本の高校生は「アメリカ」(59.0%)が多く、アメリカの高校生は「イギリス」(87.0%)、イギリスの高校生は「アメリカ」(84.0%)、オーストラリアの高校生は「イギリス」(88.0%)、韓国の高校生は「アメリカ」(59.0%)、中国の高校生は「イギリス」(55.0%)という結果になりました。



【図3】 あなたは、どの国の人と友達になりたいですか？（複数回答）※自国を除く

 まとめ

グローバル化が進み、高校生も旅行や留学などで海外に行く機会が増え、世界に向けた関心が高まっています。

今回、日本、アメリカ、イギリス、オーストラリア、韓国、中国の高校生を対象に、旅行や留学などで行ったことのある国や行ってみたい国、友達になりたい国について調査したところ、旅行や留学などで行ったことのある国では、日本の高校生は「アメリカ」(19.0%)が最も多く、次に「オーストラリア」(8.0%)、「イギリス」(7.0%)、「中国」(7.0%)、「韓国」(4.0%)という順になりました。一方、アメリカの高校生は「イギリス」(10.0%)、イギリスの高校生は「アメリカ」(31.0%)、オーストラリアの高校生は「イギリス」(19.0%)、韓国の高校生は「日本」(16.0%)、中国の高校生は「韓国」(17.0%)に行ったことがあると回答し、国によって行先国に違いがみられます。また、旅行や留学で行ってみたい国では、日本の高校生は「アメリカ」(49.0%)、「イギリス」(49.0%)、「オーストラリア」(47.0%)が多く、英語圏の国が多くなり、日本は、「イギリス」(67.0%)、「オーストラリア」(63.0%)の高校生から人気のようです。友達になりたい国は、日本の高校生は「アメリカ」(59.0%)が多く、アメリカの高校生は「イギリス」(87.0%)、イギリスの高校生は「アメリカ」(84.0%)、オーストラリアの高校生は「イギリス」(88.0%)、韓国の高校生は「アメリカ」(59.0%)、中国の高校生は「イギリス」(55.0%)という結果になり、アメリカとイギリスが人気です。そして、まだ行ったことのない国に対しても友達になりたいという回答が多くみられました。

この調査結果からみても、日本を含めた6か国の高校生は海外への関心は高いようです。それぞれの国の文化や人を自分自身の目や体験を通じて知ることで更に理解が深まります。子どもたちには、グローバル社会で活躍できるよう様々な知見を深めてほしいものです。

毎月最終  
火曜日  
更新

## カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。

ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>